

平成 27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信州山の日」おたり真夏の雪まつり
事業主体 (連絡先)	一般社団法人小谷村観光連盟 0261-82-2233
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	685,800円 (うち支援金: 457,000円)

事業内容

雪まつりの開催

・地域の特色である豊富な雪を夏まで残してイベントを開催

①実施日 平成27年7月25日(土)26日(日)

②会場 梅池高原スキー場 雪の広場

③主催 小谷村観光連盟

共催 長野県 FM長野 FMとやま

④内容 雪の滑り台の設置 ステージイベント 梅池自然園写真展 【イベント会場内】
地域グルメ・特産品の販売 信州山の日フォーラムの開催

⑤その他 26日は信州山の日フォーラムと共催



(活動)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①H26年7月4週土日曜日 入込数 1,223名 861名
合計 2,084名

H27年7月4週土日曜日 入込数 947名 1,180名
合計 2,127名 102%

②H26年 2,300名 H27年 2,650名 115.2% ▲350名

③長野県・FM長野 とやまとの共催により広域的にPR
できた。また、残した雪で東京町田市にて真夏の雪まつり
を開催することができ、町田市民にも広くPRする事が
でき、さらにメディア数社にも取上げられた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年初めて2日間の開催が出来たが思ったほどの増員が
出来なかった。来年以降は旅行会社にも情報提供し商品化を
依頼し更なる入込増を目指す。また、都市圏や他のイベント
にも雪を活用してインパクトのあるPRに努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①梅池自然園入園者増
- ②イベント来場者 3,000名
- ③広域的なPR

※自己評価 【C】

【理由】

今年初めて2日間開催が出来たが
小学校から生徒へチラシ配布したり
長野県からも広報していただいた
が思ったほどの増員が出来な
かった。違った集客方法も考える必
要がある。